

令和5年4月11日

報道関係者 各位

長崎総合科学大学との「脱炭素社会構築等に関する連携協定」の締結及び
「ゼロカーボンシティ宣言」について

長崎総合科学大学と島原市との脱炭素社会構築等に関する連携協定調印式及びゼロカーボンシティ宣言を下記の日程で行いますので、お知らせします。

記

1. 日時 4月18日（火）午後2時から
2. 場所 島原市本庁舎 3A会議室（3階）（島原市上の町537番地）
3. 主な出席者 長崎総合科学大学学長 黒川 不二雄
島原市長 古川 隆三郎
4. 連携協力事項
 - (1)脱炭素に関する技術開発
 - (2)島原市の特性を考慮した再生可能エネルギーの利活用に関する技術開発
 - (3)水素製造に関する技術開発
 - (4)蓄電に関する技術開発
 - (5)脱炭素社会構築に関する市民との協働した取り組み
 - (6)ゼロエミッションに関する取り組み
 - (7)その他脱炭素社会構築に関する取り組み全般

5. 備考

地球温暖化防止にかかる具体的取組として「島原水素蓄エネルギープロジェクト」を今年度から開始するにあたり、長崎総合科学大学との連携協定により技術的なご協力をいただくほか、地域社会の発展と人材育成及び学術の振興に寄与することを目的として協定を締結するものです。

また、今回の協定をきっかけに 2050 年の脱炭素社会の実現を目指す決意を表明するため、市長が島原市の「ゼロカーボンシティ宣言」を表明します。



島原守護神 しまばらん

【担当から一言】
今回の事業を契機に島原市においても具体的な地球温暖化防止
対策を進めていきます。

担当：島原市市民部環境課 環境班
担当 濱口、北島
電話：0957-63-1111（内線 194）
E-mail：kankyo@city.shimabara.lg.jp

島原市ゼロカーボンシティ宣言書

地球温暖化の原因となる人間の活動に伴う温室効果ガスの影響については、IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）により「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と明記されました。

地球温暖化に伴う異常気象による干ばつや洪水が世界各地で発生しており、農業生産や生物多様性、人間社会への脅威となっています。国内においても、近年の異常な酷暑や大型化する台風など、その端緒が現れ始めています。

これ以上の気候変動を防ぐためには、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を、1.5 度に抑える」必要があるとされ、この目標の達成には 2050 年までに CO₂ の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

このような状況を踏まえ、国においても、「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が宣言され、現在、官民を挙げた脱炭素に向けた取り組みが本格化しており、この流れは世界中の国々にも広がっています。

本市においても、地球温暖化防止は最重要な課題であり、気候変動による影響から市民の生命・財産を守りつつ、私たちの歴史ある美しい郷土を未来に引き継ぎ、世界中で災害等に苦しむ国々を出さないよう脱炭素化の取り組みを柔軟かつ速やかに推進しなければなりません。

ついては、本市も国内の多くの自治体や国際社会と足並みを揃え、2050 年の脱炭素社会の実現を目指す決意を表明するため、ここに「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和 5 年 月 日

島原市長